

<天の宝の価値>

マタイ6：19～24

宝とは？ 自分が一番大事にしていること、価値を置いているもの。
ある人は地上に宝があり、ある人は天に宝がある。

地上の宝とは？ 金銭・仕事・能力・才能・安定した生活・有形無形のいろいろ。
依存の対象・関心の的・自分を満足させてくれるもの。

あなたの心はどこにあり、何によって満たされている？
あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。【21節】

「天の宝」とは、神のみこころに沿った私たちの生き方そのもの。

天の宝がどれほどすばらしいか！ パウロがエペソの教会へ書き送った。
あなたがたの心の目がはっきり見えるようになって、神の召しによって与えられる望みがどのようなものか、聖徒の受け継ぐものがどのように栄光に富んだものか、また、神の全能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力がどのように偉大なものであるかを、あなたがたが知ることができますように。 エペソ1:18-19

心の目がはっきりと見えるようになると、
神さまがくださる賜物が、どれほどすばらしいかを知る。

◆天の宝を見るための秘訣・・・みことばに親しむこと。み言葉に教えられること。
助け主なる聖霊が、私たちの信仰を助けてくれる。

からだのあかりは目です。それで、もしあなたの目が健全なら、あなたの全身が明るいが、
もし、目が悪ければ、あなたの全身が暗いでしょう。それなら、もしあなたのうちの光が暗ければ、
その暗さはどんなでしょう。【22、23節】

- ①自分の宝は、天にたくわえること
- ②からだのあかりは目であること
- ③だれも 二人の主人に仕えることはできないこと

①②③は別々の事柄ではなく、それぞれ密接なつながりをもって語られている。

Point 1

目が健全で全身が明るければ、天に宝を積むとはどんなことが良くわかる。

Point 2

健全な目をもって「光」を見続けるには、二人の主人には仕えることが出来ない。

だれも、ふたりの主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛したり、一方を重んじて他方を軽んじたりするからです。あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはできません。【24節】

旧約聖書に登場する預言者エレミヤが、神のことばを民に語った。

「わたしの民は二つの悪を行った。湧き水の泉であるわたしを捨てて、多くの水ためを、水をためることのできない、こわれた水ためを、自分たちのために掘ったのだ。」

エレミヤ2：13

「湧き水の泉」と「水ため」どちらも同じ水。しかし大きな違いがある。

湧き水の泉・・・いつまでも尽きることなく、こんこんと湧き出てくる。

水ため・・・人の必要を一時的に満たすことは可能。しかしいつかは涸れる。